事業番号	15 07 10	事業改善シート(25年度実施事業分) □ □	予算要求	口当初予算第	□補正予算案 ■点検	
事業名			担	部局	教育委員会事務局	
尹 未 乜	宗立文對凶音與事 未 有			課∙室	文化財·生涯学習課	
₩ Λ = 	プロジェクト 8-6-2 教育再生プロジェクト		—— 当 課	E-mail	bunsho@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年 計画	施策の総合的展開	7-3 生涯を通じた学びと文化・スポーツに親しむ環境づく	り			
пш	旭界の総合的展用	◆学びの成果が生きる生涯学習の振興		実施期間	S25 ~	

1 事業の概要

目指す姿 ○文化・情報拠点としての図書館 情報資源を整備し、情報と人との出会いをつくる文化・情報拠点としての図書館を目指す。 現状 ○課題解決型図書館 膨大な情報を整理し、県民や団体等が抱える各種課題を解決するための支援ができる図書館を目指す。 現状 ○図書資料購入費が年々減額され、全国的に見ても非常に低い。(H25当初予算全国第40位) ○多様なニーズに対し、正確かつ適切な情報を活字・電子の両媒体で提供できる体制づくりが必要。そのためにもあり方を含め、県立図書館としての役割を再確認する必要がある。 県が関与する理由 する理由 県関与の必要性あり 県民との協働による実施:検討中 【左記の説明、根拠法令等】 社会教育法、図書館法、県立長野図書館条例

① 成果目標(H25)

・県民の情報拠点として、多様なサービスを提供し、県民の自主的な生涯学習活動の支援をする。 (個人貸出冊数、調査相談件数の前年度増:個人貸出冊数150,000冊以上、調査相談件数8,000件以上)・市町村立図書館との連携協力及び図書館未設置町村への支援を行う。(相互貸借冊数の年間利用増:年間4,500冊以上)

② 事業内容 (単位:千円)

H25 H26 項目 実施方法 H25事業実績 (当初) (決算) (当初) 館を管理・運営するための経費 【人件費】行政嘱託員12人報酬及び保険料等 管理運営費 57,947 直接 55,576 56,749 【その他】維持管理経費等(燃料費等(電気・ガス・上下 水道)・保守管理(庁舎設備)・その他(事務機器借上) 事業内容 コンピュータシステムを管理・運営するための経費 消耗品·光熱水費 回線使用料 コンピュータ管理費 直接 32,059 31,572 28,604 プロバイダ接続料 コンピュータ借上料 一般県民への貸出等の図書サービス 図書購入費(課題解決支援・データへース接続等) 事業費 直接 31,890 29,963 30,493 •市町村との連携・支援 相互貸借郵送料等

	区 分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26年度	
			前年度繰越	191,562			
	予		当初予算	131,687	117,650	119,525	117,044
事類	算額	補正予算		-600	2,016		
業			合計(A)	322,649	119,666	119,525	117,044
*			国庫支出金	191,562			
⊐	AΦ		県 債				
_	財源	亰	その他(財産収入等)	14,960	5,843	2,796	7,416
ス		一般財源		116,127	113,823	116,729	109,628
۲	決	決 算 額(B)		319,861	119,099	118,284	
	概 第	算	職員数(人)	24.00	24.00	24.00	24.00
		‡費	概算人件費 (C)	198,192	198,192	198,192	198,192
	概算	算事業費(B(A)+C)		518,053	317,291	316,476	315,236

成果目標の達成状況								
項目	H24末 (実績)		H26					
快日		目標	成果	達成状況	目標			
個人貸出冊数	149, 943 冊	150, 000 冊	138, 858 冊	未達成	140, 000 冊			
相互貸出冊数	4, 305∰	4,500冊	5, 125冊	達成	5,000冊			
調査相談件数	8,753件	8,000件	10,448件	達成	8,000件			

119,525

118,284

117,044

合計

目標に対 する成果 の状況

・コンピュータシステムの更新作業による開館日の減少や、2月の大雪の影響等により入館者数が減少したことから、個人貸出が目標を下回った。

・相互貸借については、高校図書館の利用促進を図ったことにより、利用が増加した。

2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしていき たいか □ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

・生涯学習や情報の拠点として、県内公共図書館、団体等との連携・協働により、県民全体へのサービスを強化していきたい。

・調査相談は、図書館サービスの向上という観点からは必要な業務であるが、件数の増加はあるものの、内容は単純な相談が主であるため、今後はあり方検討の結果を踏まえて郷土資料の収集保存に関するレファレンスの充実やデータベース化の取り組みを進める。